

Syllabus		
コース	レクチャーコース	
カテゴリー	言語・文学	
クラス名	対象言語学について学ぶ	
クラスコード	LEJA001	
グループ/プライベート	グループ(最少開講人数:5人)	
授業回数	10回	
授業スケジュール	前半:2023年3月25日~6月10日 (※4/29、5/6はお休みとなります)	春ターム
曜日	土曜 (※毎週)	
時間	10:30~11:30(授業時間:60分)	
授業形態	オンライン(Zoom)	
授業言語	日本語	
授業料(税込)	¥25,000	
申込締切日	2023年3月18日(土)	

授業の概要・目的

対照言語学とは、二つあるいは二つ以上の言語について、音・語彙・文法等の言語体系や、それらを用いる行動の様々な部分を照らし合わせ、相応する部分と相対する部分を明らかにしようとする分野です。

言語の対照研究は、2つの言語を比較対照することにより、(1)それぞれの言語の特性を明らかにし、(2)それぞれの言語を公平に見る(相対化する)ための視点を見出すものです。このクラスでは、言語対照の基本的な考え方について述べるとともに、日本語=ペルシア語・日本語=英語などの対照研究の例を紹介します。

構造の異なる言語を対比してみることによって、その言語の特徴を一層よく知ることができ、その結果を外国語教育や、外国人のための日本語教育等にも応用できます。

本授業では、他の言語の対照研究にも適応できるよう、実践的な方法をも取り上げます。

授業内容

- 第1回:対照言語学の目的と手法／本コースについて
- 第2回:社会と言語はどのようにつながっているか
- 第3回:言語と歴史 — 日本語とペルシア語を中心に —
- 第4回:対照研究のトピック(1):敬語表現
- 第5回:対照研究のトピック(2):呼び方
- 第6回:コミュニケーションとは何か
- 第7回:対照研究のトピック(3):非言語コミュニケーション
- 第8回:対照研究のトピック(4):言語コミュニケーション
- 第9回:対照言語 — 一緒に考える1 —
- 第10回:対照言語 — 一緒に考える2 —

教科書

特にありません。毎回、資料を配布します。

参考書

「対照言語学」 1990/2/1

石綿 敏雄(著)、高田 誠(著)

講師の紹介



フーリエ・アキバリ 先生

【略歴】

イラン出身。テヘラン大学日本語教育学科修士課程卒業後、2013年に来日。2018年千葉大学人文社会科学研究科にて博士号を取得。社会言語学および日本語教育の分野で、日本で暮らすペルシア語母語話者(主に在日イラン人)の言語使用問題や社会的問題などを研究。

これまで、ペルシア語初級者・中級者・上級者の生徒を対象に文法、読解、聴解、会話など幅広くペルシア語教育に携わる。現在、千葉大学人文公共学府特別研究員、白百合女子大学非常勤講師。

※Kimiya Academy はクラスの運営とコーディネートのみを行っており、講師が授業内で語る内容に干渉することはありません。